



尾久八幡

令和6年度 7月号

令和6年7月5日発行

荒川区立尾久八幡中学校

校長 稲葉 裕之

6月は、各学年・学級の宿泊行事が行われました。いずれも天候に恵まれ、計画していたプログラムをほぼ予定通り実施でき、自然のなかで様々な体験・経験をすることができました。こうした体験・経験は、生徒にとって「感動体験」となるだけではなく、成長のチャンスでもあります。どの学年も、失敗を含め、取り組んだからこそ得られたことが数多くあり、移動教室3日間で生徒が成長する姿をみることができました。これからも、こうした体験・経験の機会を大切にしていこうと思います。

集団生活を通して、学年のレベルを高めることができました。

2年 下田移動教室 6月5日(水)～7日(金)

6月5日(水)、移動教室初日は、下田に到着すると爪木崎で昼食をとりました。広々とした屋外はとても気持ちよく、クラスの仲間とのんびりと過ごすことができました。また、海を見下ろしながら食べるソフトクリームは格別でした。その後、爪木崎から恵比須島までのハイキングコースが「通行止め」となっていたためバスで移動、恵比須島の散策を楽しみました。



その夜は、伊豆半島ジオガイド協会の方による「ジオ学習」をしました。伊豆半島各地の砂のサンプルを使い「砂の標本」を各自で製作、それをもとみに地域による砂の特徴を考察し、発表し合いました。その後、講師の方から、伊豆半島の成り立ちと砂の特徴との関係について解説していただきました。伊豆半島各地の砂を実際に見比べてみると、その特徴の違いは歴然で、理解を深めることができました。

6月6日(木)2日目の午前は、下田市内班行動を行いました。どの班も協力しながら課題に取り組み、全班、制限時間内にゴールすることができました。午後は、外浦海岸でのシーカヤック、サンドアート、磯学習を行いました。シーカヤックでは、インストラクターの方たちのサポートを受けながら2～3名一組で操船、当日は風が弱かったおかげもあり、湾内の先の方まで行くことができ、そこから見る景色は爽快でした。





また、シーカヤック体験と平行して、各班ごとサンドアートに取り組みました。園芸用シャベル2本とバケツ1個という、限られた用具をうまく使いながら、当日班ごとに与えられたお題で製作するというもので、どの班も協力しながら取り組んでいました。なかには、この短時間でつくったとは思えない、なかなかの出来栄のものもありました。

せっかく海に来たのだからと、「磯学習」も実施しました。理科担当の渡邊先生は、慣れた手つきでカニやらヤドカリやらをその場で採取、講義とともに観察活動を行いました。まさに、下田に“移動”してきた“教室”でした。宿舎に戻っても、興味ある生徒たちは、採取した生物の観察やスケッチを楽しんでいました。(採取した生物は海に戻しました。)



4時間の活動でしたが、ネイチャースポーツの屋外体験、協同作業による班活動、自然に触れながらの教科学習など、日ごろ東京ではできない学習活動を行うことができました。

6月7日(金)、移動教室最終日は、伊豆シャボテン動物公園を見学しました。ここは動物たちとの距離が近く、カピバラやプレーリードッグなどをすぐ手の届くところで見ることができ、また、孔雀も放し飼いのため、目の前で羽根を広げる姿にも遭遇しました。1時間ほどの見学時間でしたが、十分楽しむことができました。さまざまな自然体験・学習ができた移動教室でした。

地校の生徒を含め、互いの交流を深めることができました。

6組 清里移動教室 6月19日(水)～21日(金)

6月19日(水)、初日最初のプログラムは、御坂農園での昼食と体験活動「味噌づくり」でした。“こうじ”と塩を入れ、そこに大豆を入れてつぶしながら混ぜ合わせます。はじめは上手くできませんでしたが、だんだんと慣れてきてまんべんなく混ぜることができました。この後は一か月ほど寝かせて完成、出来上がったらお味噌汁にして食べてみたいです。



6月20日(木)二日目は朝から晴れて絶好の野外活動日和のなか、「車山ハイキング」でした。白樺湖を抜けピーナスラインの先の「車山肩」から、八幡中が先頭となりハイキングを開始しました。5分ほどで車山湿原、ここは、木道になっていたの歩きやすく、レンゲツツジがたくさん咲くなか、のんびりと進んでいきました。15分ほどで「車山乗越」に到着、ここからは小さな石が転がる登り坂になります。

そして最後の一気に頂上まで続く階段は、ずいぶんと急な登りで、一步一步上がるのも一苦労、それでも黙々と登っていききました、10分程かけて山頂リフト前にゴールしたときは、みんなヘトヘトでした。しかし、山頂での景色は格別で、周囲の山々を一望でき、ふもとの白樺湖がきれいに見えました。また、高原をわたる風はさわやかで、疲れも一気に吹き飛びました。その後、リフトでのんびりと20分程で下山、白樺湖畔の池の平レイクサイドプラザでお土産購入と昼食、ソフトクリームを堪能しました。



この日の夜のキャンドルサービスでは陳さんと向山さんが司会をしました。また、採火のセレモニーでは三上さんと高田さんが八幡中の代表として「火の神」から「努力の火」と「勇気の火」を受け取りました。その後のレク大会では、「あいさつじゃんけん」「新聞紙レース」「共通点を探せ」の3つのゲームが行われ、大いに盛り上がるとともに、他校の生徒とも交流を深めることができました。

6月21日(金)最終日、退園式の後、学園をあとにし、移動教室最後のプログラム、立科町交流促進センター「耕福館」でのクラフト体験を行いました。自分で選んだ体験メニュー「草木染め」「バードコール」「小枝の鉛筆」にそれぞれ分かれ、製作活動に取り組みました。初めての体験なので、最初は上手くできるか不安もありましたが、インストラクターの方が丁寧に教えてくださり、なんとか完成させることができました。東京へのいいお土産になりました。



今回の移動教室は、6組はもちろん、他校の生徒とも交流を深めることができた行事となりました。

取組を通じて、学年としての実力を高めることができた3日間でした。

1年 清里移動教室 6月26日(水)～28日(金)

移動教室1日目は天候に恵まれ、昼食場所の滝沢牧場では、雄大な八ヶ岳の山々をバックに集合写真を撮ることができました。また、牧場ならではの濃いソフトクリームをおいしくいただきました。その後の美しの森オリエンテーリングでは、地図を頼りに班ごとに協力しながら進みました。頂上はとても眺めがよく、高原を吹く風が心地よかったです。その夜は体育館でレク大会を楽しみました。



2日目は、白樺湖へ行き、レイクカヌーとゲレンデハイキングを体験しました。



レイクカヌーは本校では初めての試みでほとんどの生徒がカヌーは初めてで、恐る恐る乗り込んで桟橋を出発しましたが、インストラクターの指導のもと、次第にパドルの操作にも慣れていきました。湖の真ん中の噴水や水上鳥居を巡りながら、スピードを出して漕げるようになっていき、気が付けば湖を一周、桟橋のゴールを目指して競い合う生徒もいました。1時間半ほどでしたが、満足度の高い体験となりました。

インストラクターさんのガイドで、スキー場のゲレンデをハイキングしました。道々、自生している植物や生息している動物の話を知ったり、草笛を教えてもらったりと自然体験を満喫、充実した時間を過ごすことができました。

その夜は、キャンプファイヤーを行いました。火の神からの採火セレモニーに続き、みんなでフォークダンス「マイムマイム」「オクラホマミキサー」を踊りました。学校で練習してきた甲斐もあって大いに盛り上がり、学年としての親睦を深めることができました。最後は、厳粛な雰囲気の中、消えゆく炎をみんなで見つめながら、感動をかみしめました。



最終日3日目、移動教室最後のプログラム、マス釣り体験を実施しました。退園式後、川俣川釣りセンターに移動、あいにくの雨となりましたが、さっそく班に分かれて釣り体験を開始しました。釣りは初めてという人も多かったのですが、思いのほかうまく釣ることができました。むしろ大変だったのはその後で、さらに自分でさばくのも慣れない作業のため手間取っていました。それでも焼きたての魚は、ふわふわで塩味が効いていて、とても美味しかったです。

今回の移動教室では、状況に合わせて、その都度行動を変更することもあったのですが、生徒一人一人が意識をしながら行動し、予定していた活動・体験をやり切ることができました。取組を通じて、学年としての実力を高めることができた3日間でした。